

失語症者のための会話支援 —失語症者向け意思疎通 支援事業

92-96

1

失語症の人ための会話支援

●小林久子

98-103

2

失語症者向け意思疎通支援とは

—これまでの経緯など

●村山太郎

105-109

3

各地のモデル事業 ①

我孫子市における意思疎通支援者養成の取り組み

●竹中啓介

110-114

4

各地のモデル事業 ②

四日市市における失語症者への意思疎通支援事業の経緯と取り組み

●杉浦加奈子

115-118

5

各地のモデル事業 ③

世田谷区における失語症者向け意思疎通支援者養成の取り組み

●安保直子

119-122

6

失語症者向け意思疎通支援事業への日本言語聴覚士協会の取り組み

●立石雅子

失語症は身体障害と比べると外から見えにくい障害であるため周囲の人から理解されにくく、コミュニケーションの要になる言葉の障害であるため、社会参加がうまくいかない場合が多いのが現状です。失語症のある人が地域で生活をするためには会話を支援する人が必要です。この意思疎通を支援する人の養成は、これまでボランティアベースでされてきましたが、このたびようやく国の事業として始まることになりました。

本特集では、各都道府県で実施されることになるこの事業に至るまでの経過と意義をまとめ、展望と課題を考えてみたいと思います。

企画担当 ● 西脇恵子（日本歯科大学附属病院、言語聴覚士）